
【8月26日】東川町が東京でトークイベントを開きます。

(2016/08/26 金曜日 13:38:57 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2016/08/26 金曜日 14:29:34 JST)

ラトビアとの強い絆をもつ北海道東川町の多彩な魅力を、松岡市郎町長自ら出席して、同町写真の町課の吉里ひろ子学芸員と話し合います。9月9日19時、八重洲ブックセンター本店。詳細は下記案内をご覧ください。(編集室)

『東川町ものがたり 町の「人」があなたを魅了する』(新評論刊)刊行記念

松岡市郎 × 吉里演子 トークイベント

(東川町長)

(東川町写真の町課・学芸員)

【写真文化首都「写真の町」東川町の魅力とは】

日時：2016年9月9日(金)

19時00分～(開場：18時30分)

※トークイベント終了後、サイン会を実施いたします。
(お持ち込みの本・色紙・グッズ等へのサインはできません。)



場所：八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー

トークイベント概要

北海道旭川市南東、大雪山の麓に広がる人口僅か8,000人の小さな町「東川町」なんとこの東川町、「国道」・「鉄道」・「上水道」普通ならあって当たり前前の3つの道がない。1950年の10,754人をピークに1994年3月には6,973人まで人口が減少した。このままでは・・・さあ、町のPRに奔走する日々の始まりです。「大雪山」・「写真甲子園」・「クロスカントリー」・「木エクラフト」・「君の椅子」・「東川米」・「ひがしかわワイン」・「温泉」・「株主制度」・「町立日本語学校」これらのキーワードを軸に「町づくりの仕掛け」を東川町に暮らしている人々の様子とともにお伝えします。イベント終了後、あなたもきっと「東川町」に行きたくなるはず！いや、移住したくなるかもしれません。

登壇者紹介



松岡 市郎(まつおか いちろう) 東川町長

1951年生まれ。1972年東川町奉職。農林課長補佐、社会教育課長、税務課長を経て、2003年に退職。同年、東川町長に就任。現在4期目。雄大な大雪山系より流れる清流「忠別川」の美味しい水、澄んだ空気、肥沃な大地と美しい景観。恵まれた資源を最大限に活用し、新たな付加価値を創出しながら、写真文化首都「写真の町」東川町の地名度を生かしたプライムタウン(最高のまち)づくりに取り組んでいます。また、職員の知力と実行力を求める「前例踏襲型」から「個性創造型」行政への転換を図り、住民福祉の向上に努めています。



吉里 演子(よしざと ひろこ) 東川町写真の町課・学芸員

大阪市阿倍野区出身。大阪芸術大学写真学科卒 高校時代には「写真甲子園」本戦出場を果たし、東川町へ初来町。以来、東川町に魅了され、寝ても覚めて東川町のことを想うことに。大学時代には「写真甲子園」ボランティアスタッフや、大学の卒業制作で大阪と東川町を行ったり来たりするなか、町への想いは更に膨らむ。大学4年生の冬に偶然にも募集があった「写真の町課」の臨時職員となり、「考える時間があるんだっから、飛び込もう」状態で東川町へ移住。その後、正職員となり現在に至る。「東川町ものがたり」編集実務を担当。

参加方法

- ▼参加定員：80名(申し込み先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▼申込方法：1階カウンターにてお申し込みください。参加整理券を差し上げます。また、お電話によるお申し込みも承ります。(電話番号:03-3281-8201) (参加整理券1枚につき、お1人のご入場とさせていただきます。)
- ▼参加費：税込 500円
イベント当日会場入口にて整理券をご呈示の上、参加費をお支払いください。

※お預かりした個人情報(氏名・電話番号)は、お申込みのイベントが中止、もしくは日時が変更になった場合のご連絡のみに使用致します。

主催：八重洲ブックセンター 協賛：新評論